教育研究業績書

2025年05月07日

所属： 薬学科　　資格： 教授　　氏名： 田内　義彦

研究分野	研究内容のキーワード
医療薬学，漢方医学	薬局業務，セルフメディケーション，臨床漢方医学
学位	最終学歴
博士（薬学）	県立静岡薬科大学院　博士課程前期（修士課程）

教育上の能力に関する事項		
事項	年月日	概要
1 教育方法の実践例		
1.クリニカルサイトインターンシップの実施	2024年4月～現在	本学の早期プロフェッショナルプログラムの一環である有償制インターンシップの発展版として学生全員が参加可能な新たな有償の長期インターンシップである「クリニカルサイトインターンシップ」を設定し、受入れ薬局（約100店舗）の開拓、学生への説明や事前研修（接遇研修）等、内外の活動を行っている。
2.有償制インターンシップの実施	2022年4月1日～現在	本学の早期プロフェッショナルプログラムの一環である有償制インターンシップに関し、学生への説明や選考審査、事前講義、受入施設確保のための企業との交渉等、内外の活動を行い、年２回の実施に務めた。
3.播磨地区でのママサポート会活動	2018年6月～現在	播磨薬剤師会が兵庫県の委託事業として行っているママサポート活動に薬学生と共に参加し、共同で運営を行うと共にアンケート調査を実施し、ゼミ研究の一環としている。
4.Student CASP	2015年6月～2021年3月	EBMの実践能力に必須であるとされている「批判的吟味（CASP)」の修得を目的に、現役の医師や薬剤師と共に統計解析の論文を題材にPICO形式でSGDを主体とするワークショップを開催している。
5.海外薬学研修	2011年2月～2020年3月	米国の薬剤師業務及び薬学教育の実態を学ぶための海外薬学研修を参画し、事前講義の実施、研修引率、成果発表会の実施、成果報告書の咲くぜいのすべてに関与し実施。さらに日本の薬学教育や薬学生の実態、薬剤師の業務についての英語でのプレゼンテーション及び米国のドラッグストアーでの薬剤師業務に関するフィールドワークの実践の指導を行い、研修内容の充実化を図っている。
2 作成した教科書、教材		
1.薬剤師になる人のための生命倫理と社会薬学	2015年3月刊行	薬学部1年生に向けた教育に用いるための教科書として、薬剤師業務、国内外の薬学史、日本薬局方の概要、薬剤師業務に関連する法律の解説などを分担
2.実務実習事前教育（臨床準備教育）用テキスト	2011年3月より毎年更新	臨床準備教育における演習、実習の際に用いるテキストとして分担
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.東神戸薬局（神戸市東灘区）における薬剤師業務	2014年4月～現在	臨床研鑽として保険調剤（内科、外科、整形外科、消化器外科、神経心療内科の処方）及び在宅医療の調剤に従事（1日／週）
2.神戸市医師会休日急病診療所及び神戸こども初期急病センターの出務	2012年4月～現在	臨床研鑽として休日急病診療所の夜間及び休日診療における薬剤師業務に従事
4 その他		
1.「登録販売者の資質向上のための外部研修」での講義	2012年2月～2020年2月	兵庫県薬剤師会主催の「登録販売者の資質向上のための外部研修」において「適切な漢方薬の選択と販売」をテーマに、様々な疾患や症状別での漢方薬販売時の指導方法について講義を行う。
2.神戸市東灘区主催の薬学実務実習における集合研修	2010年10月2022年10月	薬局実務実習における集合研修である「接遇研修」「流通機構研修」「災害救助研修」「薬害研修」等の計画・実施に参画し、引率ならびに講義、SGDでのチューターを担当する。

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		

職務上の実績に関する事項		
事項	年月日	概要
1 資格、免許		
1.日本医療薬学会指導薬剤師 2.日本医療薬学会認定薬剤師 3.薬剤師免許	2008年1月～現在 2003年4月～現在 1988年1月～現在	
2 特許等		
3 実務の経験を有する者についての特記事項		
1.保険薬局及び漢方薬局における薬剤師業務	2003年4月～2010年7月	保険薬局薬剤師及び管理薬剤師として保険調剤業務、管理業務に従事するとともに、基幹病院　薬剤部との薬薬連携の構築、老人ホーム等の施設での在宅業務、OTC医薬品や健康食品等の販売に従事。漢方専門薬局の管理薬剤師として、漢方薬に関する相談、販売に従事するとともにオリジナルの健康茶の開発・作製及び漢方カフェの薬膳メニューの開発に参画。
4 その他		
1.薬学実務実習における休日急病診療所集合研修	2011年5月～現在	神戸市薬剤師会主催の薬学実務実習における休日急病診療所の役割に関する学習と実地見学の集合研修において講師と見学引率を担当

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
1 著書				
1.薬剤師になる人のための生命倫理と社会薬学	共	2015年3月刊行	法律文化社	薬学部1年生及び新人薬剤師のための、薬剤師の業務と担うべき責務、薬剤師として必要な歴史や法律、;規則等について分かりやすく解説した。　担当：1章、2章、5章
2 学位論文				
1.粥状動脈硬化症の治療を目的とした低密度リポタンパクを担体として用いる薬物送達システムの研究		2001年10月	北海道薬科大学	粥状動脈巣の形成に関与する生体成分である低密度リポタンパクを担体として用い、マクロファージの泡沫化を抑制することにより、粥状動脈巣の形成を選択的に抑制する新たな薬物送達システムの構築をin vitro実験系及びモデルマウスを用いたin vivo実験系で検証した。
3 学術論文				
1.日本人を対象とした食後血糖値上昇に対する難消化性デキストリンの効果：二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験のメタアナリシス	共	2017年	医薬品情報学　18(4):289-294	日本人を対象とした食後血糖値上昇に対する難消化性デキストリンの効果についてメタアナリシス手法を用い検証した結果、血糖値上昇の抑制効果が認められた
2.日本人の変形性膝関節症に対するグルコサミン塩基塩およびN－アセチルグルコサミンの効果：二重盲検プラセボ対照ランダム化比較試験のメタアナリシス	共	2016年	日本地域薬局薬学会誌　4(1): 16-22.	特定保健用食品成分であるグルコサミンの変形性膝関節症に対する効果についてメタアナリシス手法を用い検討したが有意な抑制効果は認められなかった。
3.子育て中の母親を対象とした調査にみる薬局薬剤師の職能認知と薬局薬剤師の課題	共	2015年	社会薬学　34(1):24-33.	小児科患者の保護者に対するアンケート調査結果を用い、薬剤師の職能に対する意識を解析した。
4.フィジカルアセスメントに対する薬局薬剤師の意識および活用状況に関する実態調査	共	2015年	医薬品相互作用研究　39(1):37-43.	医師による薬剤師向けのフィジカルアセスメント講習会を受講した薬剤師へのアンケート調査の集計結果を用い、薬剤師のフィジカルアセスメントに対する認識を解析した。
5.保険薬局での患者への減塩指導に対するステージ理論の考え	共	2014年	日本地域薬局薬学会誌　2(1):1-7.	インスタント食品の摂取に対するアンケート結果をステージ理論を用い評価し、塩分接収に対する意識の低さを明らかとした。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
方を応用した評価				
6.保険薬局での継続可能なブラウンバッグ運動の試み－調査票を用いた薬剤師の介入が必要な患者の選択	共	2014年	日本地域薬局薬学会誌　2(2): 49-61.	保険薬局における残薬解消を目的としたブラウンバッグ運動において、薬剤師の積極的な介入が有用であることを明らかにした。
7.Influence of particle size on the distributions of liposomes to atherosclerotic lesions in mice.	共	2006年	Drug Dev Ind Pharm. 32(1):125-35.	リポソームのマウスの粥状動脈巣への移行性に対する粒子径の影響を検討した。
8.Pharmacokinetic analysis of the uptake of liposomes by macrophages and foam cells in vitro and their distribution to atherosclerotic lesions in mice.	共	2006年	Drug Metab Pharmacokinet. 21(1):37-44.	マクロファージ及び泡沫化細胞によるマイクロスフィアの取り込みや投与後の体内分布について薬剤学的に検討した。
9.Distribution characteristics of orally administered olamufloxacin, a newly synthesized fluoroquinolone antibacterial, in lung epithelial lining fluid and alveolar macrophage in rats	共	2006年	Eur J Pharm Biopharm. 64(2): 238-45.	新規ニューキノロン薬の肺胞マクロファージへの移行性に関しラットを用い検証を行った。
10.Efficient drug delivery to atherosclerotic lesions and the antiatherosclerotic effect by dexamethasone incorporated into liposomes in atherogenic mice.	共	2005年	J Drug Target. 13(4):267-76.	デキサメタゾン含有マイクロスフィアの粥状動脈巣への選択的な薬物送達能とコレステロール集積に対する抑制効果を検証し、有用性を証明した。
11.Aortic drug delivery of dexamethasone palmitate incorporated into lipid microspheres and its antiatherosclerotic effect in atherogenic mice.	共	2005年	J Drug Target. 13(7):407-14.	デキサメタゾン含有マイクロスフィアの動脈硬化巣への移行性と動脈硬化巣形成に対する抑制効果に関する検証を行い、有用性を明らかにした。
12.Inhibitory effect of acyl-CoA: cholesterol acyltransferase	共	2003年	Biol Pharm Bull. 26(1):73-8.	アシルCo-Aコレステロールアシルトランスフェラーゼ阻害薬をLDLに取り込ませた複合体の実験的動脈硬化症への有用性を証明した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
inhibitor-low density lipoprotein complex on experimental atherosclerosis.				
13. rotonation equilibrium and lipophilicity of olamufloxacin (HSR-903), a newly synthesized fluoroquinolone antibacterial.	共	2003年	Eur J Pharm Biopharm. 56(2):223-9.	n-オクタノール・バッファーシステムを用い新規抗菌薬HSR-903の親油性を他のニューキノロンと比較し、細胞内への特異的移行性を証明した。
14. Cellular uptake of a dexamethasone palmitate-low density lipoprotein complex by macrophages and foam cells.	共	2003年	J Drug Target. 11(3):163-8.	デキサメタゾン含有LDL複合体のマクロファージ及び泡沫化細胞による取り込み能を検証した。
15. Distribution characteristics of grepafloxacin, a fluoroquinolone antibiotic, in lung epithelial lining fluid and alveolar macrophage.	共	2003年	Drug Metab Pharmacokinet. 18(5):319-26.	新規ニューキノロン薬グレパフロキサシンの肺胞マクロファージへの選択的移行性をフルオロキノロンと比較し、その選択的移行性を検証した。
16. Determination of lipophilicity of two quinolone antibacterials, ciprofloxacin and grepafloxacin, in the protonation equilibrium.	共	2002年	Eur J Pharm Biopharm. 54(1):51-8.	新規ニューキノロン薬グレパフロキサシンの細胞内移行性が親油性に起因することを検証した
17. Effect of dexamethasone palmitate-low density lipoprotein complex on cholesterol ester accumulation in aorta of atherogenic model mice.	共	2001年	Biol Pharm Bull. 24(8):925-9.	デキサメタゾン含有LDL複合体のマウス腹腔内マクロファージのコレステロールエステル集積能に対する抑制効果を検証した。
18. Inhibitory effect of dexamethasone palmitate-low density lipoprotein complex on low density lipoprotein-induced macrophage	共	2000年	Biol Pharm Bull. 23(4):466-71.	LDLとの培養によるマクロファージの泡沫化に対するデキサメタゾン含有LDL複合体の抑制効果を検証した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
foam cell formation.				
19. Positively charged gelatin microspheres as gastric mucoadhesive drug delivery system for eradication of H. pylori.	共	2000年	Drug Deliv. 7(4):237-43.	正負荷マイクロスフィアの胃粘膜吸着性のピロリ菌除去に対する有用性を検証した。
20. Preparation of a complex of dexamethasone palmitate-low density lipoprotein and its effect on foam cell formation of murine peritoneal macrophages.	共	1999年	J Pharm Sci. 88(7):709-14.	マクロファージ泡沫化を特異的に抑制することを目的とした、パルミチン酸デキサメタゾンを含有させたLDL複合体の生成に関し検討を行った。
21. パルミチン酸デキサメタゾン含有脂肪乳剤の粥状動脈硬化症に対する有用性	共	1999年	Drug Delivery System 14 (6): 511-515.	パルミチン酸デキサメタゾン含有脂肪乳剤の粥状動脈硬化症への抑制効果をin vitro、in vivo実験系を用い証明した。
22. Augmentation of NK activity after oral administration of a traditional Chinese medicine, xiao-chai-hu-tang (shosaiko-to).	共	1994年	Immunopharmacol Immunotoxicol. 16(1):41-53.	マウスにおける小柴胡湯経口投与によるNK活性への影響を検証し、有用性を明らかとした。
23. Enhancement of immunoglobulin A production in Peyer's patches by oral administration of a traditional Chinese medicine, xiao-chai-hu-tang (Shosaiko-to).	共	1993年	Immunopharmacol Immunotoxicol. 15(2-3):251-72.	小柴胡湯の経口投与により小腸のパイエル版におけるIgA抗体産生能が非特異的に増強されることを明らかとした。
24. Appearance of TCR-alpha beta+ CD4- CD8- skin intraepithelial lymphocytes in radiation bone marrow chimeras.	共	1993年	J Immunol. 15; 151(6):3000-6.	ラディエーション後のT細胞分化における細胞分画を検証し、皮内上皮細胞に胸腺外分化T細胞が発生することを証明した。
25. Sequential analysis of T cells in the liver during murine listerial infection.	共	1992年	J Immunol. 15; 149(2):568-73.	リステリア感染中のマウスの肝臓内におけるT細胞のポピュレーションの変化を経時的に検証した。
26. A new subpopulation of intestinal intraepithelial	共	1992年	Eur J Immunol. 22(9):2465-8.	経口感染後のマウス小腸内において、新しいタイプのγδレセプターを持つT細胞が発生することを証明した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
3 学術論文				
lymphocytes expressing high level of T cell receptor gamma delta.				
その他				
１．学会ゲストスピーカー				
1.大学の立場から指導薬剤師に期待すること	共	2016年3月	第14回近畿地協薬剤師交流集会分科会	薬局実務実習において大学として望む教育成果について講義すると共に、その実現のための手法に関して教員として解説を行った。
2.実務実習と薬剤師国家試験	共	2016年1月	平成27年度兵庫県薬剤師会・兵庫県病院薬剤師会共催講演会	近年の薬剤師国家試験の実務問題の中から、実務実習での経験が有用となる事例を抽出し、解説を行った。
3.薬学における漢方の現状　～薬学部における漢方医学教育について～	単	2015年10月	日本東洋医学会関西支部　平成27年度兵庫県部会	薬学部において行われている漢方医学関連の講義に関して、内容、単位数、実施学年などを元に解説すると共に臨床応用に向けて充足すべき内容に関して補足した。
4.漢方医学と漢方薬について	単	2015年2月	株式会社祥漢堂社内研修会	漢方薬に関するメタアナリシス論文の解説を通してEBMのある漢方薬を用いた治療法を紹介すると共にアレルギー症状に対し有用な漢方薬の解説と服薬指導における重要点を説明した。
5.粥状動脈硬化症の治療を目的とした低密度リポタンパク（LDL）を単体として用いる薬物送達システムの研究	単	2002年9月	静岡DDS研究会　第11回DDSカンファランス	生体成分であり、泡沫化の要素でもあるLDLを単体として用いる、新たな粥状動脈硬化症を対象とした薬物送達システムの構築に関し検討した成果を発表した。
２．学会発表				
1.病院実務実習に関するアンケート調査より解析されたコロナ禍の影響	共	2023年11月3日	第33回日本医療薬学会年会	
2.薬局実務実習に関するアンケート調査より解析されたコロナ禍の影響	共	2023年11月3日	第33回日本医療薬学会年会	
3.次亜塩素酸ナトリウムによるシクロホスファミドの化学的分解効果の検証	共	2023年11月3日	第33回日本医療薬学会年会	
4.オゾンガスによる抗がん剤分解効果の検証	共	2022年9月24日	第32回日本医療薬学会	抗がん剤調整スペースの洗浄に関し、より効果的かつ簡便な方法確立に関する基礎的な検討としてオゾンガスによる分解効果を検証した。
5.「副作用」の説明に着目した服薬指導時の薬剤師の対応についての検討	共	2019年	日本社会薬学会第38年会	ママサポート活動での参加者へのアンケート調査により、小児患者の保護者が副作用に関しどのような説明を薬剤師に期待しているかを解明した。
6.育児中の母親が薬の疑問について薬剤師に相談しない理由についての検討	共	2019年	日本社会薬学会第38年会	ママサポート活動での参加者へのアンケート調査により、小児患者の保護者が帰宅後に生じた疑問に関する解決方法を解析した。
7.米国薬学生から見た日本人薬学生の英語プレゼンテーション	共	2019年	日本社会薬学会第38年会	海外薬学研修での日本人学生によりる英語のプレゼンテーションに対する米国学生及び教員の感想等をアンケート調査し、英語力に関しては問題ないものの表現力に課題があることが判明した。
8.米国の薬局でのフィールドワーク実践報告―アクティブラーニングを取り入れた海外薬学研修に	共	2017年	日本社会薬学会第36年会	米国ドラッグストアーにおいて学生が患者としてOTCの購入時に薬剤師より受けた服薬指導内容を分析し、日本国内での指導内容と比較検討した。

研究業績等に関する事項				
著書、学術論文等の名称	単著・共著書別	発行又は発表の年月	発行所、発表雑誌等又は学会等の名称	概要
２．学会発表				
向けた試み―				
9.発信型海外薬学研修に向けた取り組み―米国の薬科大学での英語プレゼンテーション実践報告―	共	2016年	日本社会薬学会第35年会	海外薬学研修において日本人学生が日本の薬学教育並びに薬剤師業務を英語にてプレゼンテーションすることを目的としたアクティブラーニングの構築するまでの課題について検討した。
10.海外薬学研修における学生の英語理解度の検証および効果的な英語事前教育についての考察	共	2015年	日本社会薬学会第34年会	海外薬学研修に参加予定の学生に対する事前教育としての取り入れたビデオ教材及びe-ラーニングの成果を聞き取り調査にて検証した。
11.高齢者向け施設職員に対する薬剤師業務への満足度調査	共	2014年	第18回日本地域薬局薬学会年会	在宅医療における施設職員の薬剤師に対するアンケート調査を行い、薬剤師とのより深い連携や訪問頻度の増加が求められている事が判明した。
12.English as a Preparatory Program for the Overseas Pharmaceutical Training	共	2013年	JACET CONVENTION 2013― The 52nd International Convention ―	海外薬学研修に参加予定の学生に対する事前教育としての取り入れたe-ラーニングの成果を聞き取り調査にて検証した。
３．総説				
1.神戸薬科大学におけるEBMワークショップの導入と評価	共	2020年	薬学教育　2020年　4巻	神戸薬科大学において17回にわたり開催されたStudent CASPの内容を紹介すると共に参加した薬学生、医学生、薬局薬剤師、病院薬剤師、医師、医療関係者などへのアンケート結果を集計し、EBM教育におけるStudent CASPの有用性を示した。
４．芸術（建築模型等含む）・スポーツ分野の業績				
５．報告発表・翻訳・編集・座談会・討論・発表等				
６．研究費の取得状況				
1.秋山記念生命科学振興財団　平成14年度研究助成金	単	2002年	秋山記念生命科学振興財団	「粥状動脈硬化症の治療を目的とした担体を用いる薬物送達システムの確立」に対する奨励助成金（50万円）

学会及び社会における活動等	
年月日	事項
1.2024年6月～現在	病院・薬局実務実習近畿地区調整機構テキスト小委員会　委員長
2.2024年6月～現在	病院・薬局実務実習近畿地区調整機構副委員長
3.2020年6月～2024年6月	兵庫県薬剤師会　理事
4.2018年6月～現在	兵庫県薬剤師会　薬学教育部会委員
5.2018年4月～現在	病院・薬局実務実習近畿地区調整機構大学委員
6.2014年7月～現在	日本地域薬局薬学会　理事
7.2013年7月～現在	日本地域薬局薬学会　学会誌編集委員